

高退協ニュース

高知高退協
事務局
1999-9-21
No.100

高知県高等学校
退職教職員協議会
高知市丸の内二丁目一〇番
TEL 087-821-1682
振替口座 徳島 511-1893

介護保険をテーマに

夏季学習講座に41名

懇親会に24名参加

8月27日午後、高知城ホ
ールで本年度の高退協夏季
学習講座が開かれ41名の会
員が出席し熱心に「介護保
険について」学習しました。
5時過ぎからは恒例の懇
親会がもたれ、24名の仲間
が参加、お互いの健康を祝
して乾杯した後、近況の交
流や政治談義に花を咲かせ
賑やかで楽しい会となりま
した。

講座は、南事務局長の司
会で開始。岡崎会長が開会
あいさつを行った後、高知
保険医療協会の寺田福雄氏
から、介護保険制度全般の
説明と問題点の指摘があり、
参加者の質問がだされまし
た。小休後、高知市長寿生
活課の田中主任から、高知
市の取り組み状況の説明が

あり、それに対する質問が
あつて終了。林勤氏から高
知市民病院を現地に残す市
民運動と結成集会への参加
呼びかけがあり全日程を無
事終了しました。

来年4月からスタートす
る介護保険制度はヨーロッパ
の福祉制度の研究の上に、
高齢者医療費対策として打
ち出された制度で、政府の
最終案が未決定の部分を含
んでいて、まだ流動的であ
る面もありますが、実施の
方向で各市町村では懸命の
取り組みがなされているよ
うです。

一方、高齢者の有志がイ
ニシヤチブをとり「介護保
険制度の改善を要求」して、
中村市や土佐清水市等で、
市民運動が高まっていますと

のことでした。平均月額四
千円前後の負担が新たに高
齢者に課せられ、介護保険
を受けられる者は高齢者全
体の9%に過ぎない。保険
があつて介護なしとの悪評
が、あり一大社会問題となつ
ています。

参加者から出された主な
質問では、①医療保険制度
の改善ではないか。②英語
を多く使つて説明してある
がどうしてか。③現在入院
中の者が退院させられるの
ではないか。④保険料が高
いが何とかならないか。⑤
ケア・マネージャーの人数
や、対策は充分か。⑥鏡村
が村あげて、退院者をつく
ろうとしているのはなぜか
等でした。これ等の質問に
対して、丁寧な回答があり
ました。

病院をついのすみ家にせ
ず、自立した日常生活を過
ごせるよう、各種の介護サ
ービスが準備されているよ
うですが、公平な認定の問
題、保険料の高い問題、真
に適切な介護が受けられる
かの問題等、多くの問題が
あり、私たち自らの問題と
して研究し対行政要求行動
が一段と重要であることが
痛感され、注意をなりました。

市民立法で市中心部に

私たちの病院を!!

市民の健康と命を
守る実行委員会
代表委員 林 勤

高知市民病院は、市民の
意向を十分確かめずに県立
中央病院と統合、池への移
転を着々と進めています。
しかし、①池は市中心部
から遠くて不便。交通弱者
や経済的弱者は利用できな
い。②昨年九月の豪雨で、
池への道路は土砂崩落、道
路冠水などで市中心部から
一時行けなくなつていた。
救急の役に立たない。③四
百億円といわれる建設費や
年々の経営赤字等はすべて
県と高知市が折半であり、
高知市民は二重負担になる
……等々、問題点が多く、

到底容認できるものではな
いが、残念ながら、諸般の
情勢からこの統合移転を今
中止させることはできない
と判断せざるを得ません。
そこで私達は、去る九月
四日「市民の健康と命を守
る実行委員会」を結成し、
「市民立法(住民直接請求)
で市中心部に私達の病院を
現在の土地、設備を利用
するなどで、公的総合病院
の機能を確保する」の運
動を始め、市民の健康と命
を守ることを決定しま
した。

具体的には、高知市有権
者の50分の1(現時点では
約五千二百人)以上の署名
で、市長に「新市民病院へ
仮称」設置条令の制定」を
要求するものです。

直接請求の署名は一般の
請願署名と違い、①署名開
始を高知市選管に届け出で、
署名集めはそれから一ヵ月
以内とする。②受任者(署
名を集める人)を市選管へ

届け出で、受任者以外は署
名集めができない。③署名
は必ず自署、認印又は拇印
が必要、などの制約があり
案外多い受任者で、でき
るだけ多くの受任者がほし
いのです。

運動の効果からみると署
名は多いほどよいが、最低
受任者三百人で署名一万人
を目指しています。

後日、改めて受任者のお
願いをさせていただきま
すので、ご快諾の上、多くの
署名集めをよろしくお願
い致します。

なお、高知市以外の先生
方も、高知市の知人への働
きかけ、よろしくお願
い致します。

(各種選挙の前、二ヵ月
間は署名運動ができません。
今年には知事選がありま
すのでこの間に受任者
をお願ひし、実際の運動
は知事選後になります)

この夏も色々の災
害や事故があつた。
玄倉川のあの濁流の
中、傘をさしてた
ずむ一塊の集団の影
像は、はじめて涙を
誘つたが、時間がた
つにつれて腹立たし
さに変つていった。
それは遺族や社会に
与えた衝撃と自治体
に与えた損失を感じ
るようになったから
であろう。危険予知
能力が働かなくなつ
た危険予知能力が働
かなくなつたのだら
うか。リダールに少
しでも皆の安全を気
遣う心があつたら
あつたら、いかに危
かたにちがいないと
残念でたまらない。

人間の危険予知能力は他
の動物とちがいない
動物とちがいない。本
能からくる。教育の
取組みは子供を単に
命を守るためのもの
ではなく、命の尊厳
を教える危険予知能
力を育てるためのも
のである。

このような事故の後、
管理責任者が考える
のは、立入禁止区域
をひるげるといつた
安易な発想から出
てくる対策である。
これは水泳やキャンプ
など、河川を利用す
る多くの市民にとつ
て迷惑な話である。
明瞭な結果が予測さ
れるときは、立入禁
止区域として早急な
避難を実施すべきで
ある。八月に伊豆大
島へ旅したが、十三
年前の大噴火の状況
や、全島民が避難し
た経過の説明を聞いた。
火山はその後十年間
も禁止されてきた。生
命にかかわる問題は
全てに優先されなけ
ればならない。私
が今こうしている問
題は、バスになつて
いるのは、十七歳の
若さで、四万十川で
サンチャゴの所為
である。高知工専か
ら高知大学に移った
頃の半年を我が家
で暮らしたのが、ラ
テンアメリカ人特有
の陽気さと人懐っこ
さをもち、好青年で
あつた。息子同様に
処遇し、将来と墨友
の懸け橋になること
を期待して、市の斎
場のお別れ会には二
百六十人もの人が集
まり、我が家には申
問客が絶えなかつた。
西込曠

草声老話

この夏も色々の災
害や事故があつた。
玄倉川のあの濁流の
中、傘をさしてた
ずむ一塊の集団の影
像は、はじめて涙を
誘つたが、時間がた
つにつれて腹立たし
さに変つていった。
それは遺族や社会に
与えた衝撃と自治体
に与えた損失を感じ
るようになったから
であろう。危険予知
能力が働かなくなつ
た危険予知能力が働
かなくなつたのだら
うか。リダールに少
しでも皆の安全を気
遣う心があつたら
あつたら、いかに危
かたにちがいないと
残念でたまらない。

人間の危険予知能力は他
の動物とちがいない
動物とちがいない。本
能からくる。教育の
取組みは子供を単に
命を守るためのもの
ではなく、命の尊厳
を教える危険予知能
力を育てるためのも
のである。

このような事故の後、
管理責任者が考える
のは、立入禁止区域
をひるげるといつた
安易な発想から出
てくる対策である。
これは水泳やキャンプ
など、河川を利用す
る多くの市民にとつ
て迷惑な話である。
明瞭な結果が予測さ
れるときは、立入禁
止区域として早急な
避難を実施すべきで
ある。八月に伊豆大
島へ旅したが、十三
年前の大噴火の状況
や、全島民が避難し
た経過の説明を聞いた。
火山はその後十年間
も禁止されてきた。生
命にかかわる問題は
全てに優先されなけ
ればならない。私
が今こうしている問
題は、バスになつて
いるのは、十七歳の
若さで、四万十川で
サンチャゴの所為
である。高知工専か
ら高知大学に移った
頃の半年を我が家
で暮らしたのが、ラ
テンアメリカ人特有
の陽気さと人懐っこ
さをもち、好青年で
あつた。息子同様に
処遇し、将来と墨友
の懸け橋になること
を期待して、市の斎
場のお別れ会には二
百六十人もの人が集
まり、我が家には申
問客が絶えなかつた。
西込曠

秦東寺残日録

坪井 幹之

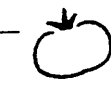
マイカーの話

この四月に車を買った。購入した車はトヨタの人気車ヴィッツである。この機会にクルマとの付合について「総括」めいた話を書いてみよう。

戦後、所帯を持った当時は自分の車を持つなどというところは夢のまた夢であった。ところがなんの拍子か、今は亡き伴侶が自動車免許を取得した。そうなるも当然、車が欲しくなる。まあパブリカぐらいならなんとかなるだろうと思いついた時、トヨタが初代カローラを発表、その展示会に足を運んだ。運よく同行した義父が気に入って買ってくれた。

しばらくは「護送車」の時代が続いたが、やがて転動した伊野商で通勤に苦労した挙げ句、学校近くの教習所「ニュードライバースクール」で授業の合間をみて練習、優秀な成績で免許を取得、オーナードライバー仲間入りした。

それでも在職中は飲酒運転には慣み、それだけは感心とわがホーム主任よりいつもほめられていた。違反も一〇Kの速度オーバード点減信号無視で捕まっただけ。それも真



ニュージールランド便り

その二 小島真子

冬休みにびったりあてはまるツアアがあったので、NZ一周の旅に出ました。ただ一人のノンネイティブに少しきついものだったけれど、美しい自然・ヨロ口ツパの香のする都会など変化に満ち、興味深い旅でした。それに参加者たちの初対面でも気軽に名を呼び合ひ冗談をとばしあつてたちまち打ちとけてしまう大らかさ。その中で『よそ者』である私を『のけ者』にしないよう気をつかう優しさなど学ぶものがありました。運転手は添乗員やガイドも

外でのことで高知県警には一度もお世話になつていない。優秀ではないが優良なドライバーであつたと自負している。免許取得後は、買って貰ったお礼もあつて義父をつんで四国八十八カ所や西国三十三カ所の霊場巡り、信州方面の登山など九州から、東北、北海道まで国中を駆けめぐつた。それも冷房なしの車で、ダイエットの効果は満点であつた。また、高教組執行部に参加した時期には、いわゆるオルグ活動で県下各地の職場をマイカーで訪問したことも懐かしい思い出として残っている。

カローラの次はその姉妹車スプリンター、そして三代目はいすずのジェミニと乗り換えた。このジェミニは当時のベストセラー「間違いだらけの車選び」で賞揚されていた車種である。洗練されたスタイルでよく外車と間違えられた。もつとも名前からして「双子」で世界中で兄弟車が売られていた。

次の買い替えにもジェミニを選んだ。ディゼルトーボのこの車は燃費が抜群、十年近く乗ったが、リッター二〇キロを切ったことはなかった。それも軽油だから、大阪までの燃料代が一人当り五百円位ですんだ。

おしまいが今回のヴィッツだが、年齢を考えるとこれが最後の買い替えというわけである。いろいろと思案した。当然独り身が乗るのだから小型車に的

兼ねていて、景色の説明だけでなく通りすぎる町の概要やこの国の政治・経済・労働問題まで語り続けるのですから驚きます。(私には1/3もわからなかつたけれど) オーストラリア人、ニュージーランド人、アメリカ人、イギリス人などが自在に語りあう姿をみると、イギリスの植民地のひろがりを痛感します。そして、英語圏と非英語圏の条件の差をひしひしと感じました。

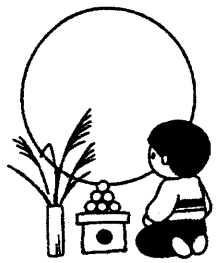
NZは農業国との印象が強いのですが、ハイテク化も進んでいて、その為失業率が増えています。私のいるトコロアは町自体は人口一

をしぼつた。わが敬愛する自動車評論家徳大寺先生の意見では、「パンツAクラスが世界ナンバーワンの小型車」だそう。また、「この次に買うとすればスマートかヤリスが楽しみ」とも語っている。

当初はパンツに食指が動いたが、結局、ヤリスの日本版ヴィッツ(1.000cc)に落ち着いた。さすがトヨタがコンパクトカーの本場ヨーロッパを目標に設計しただけあつてなかなかの出来である。燃費はよい、キャビンが広い、安全性は高い、その割に値段は安かつた。それに始めてオートマを選んだ。たしかに運転は楽だが、構造上エンジンブレーキの利きが弱く、フットブレーキの多用を強いられるのが難である。この夏、信越方面に遠出を試みたが、高速道路も結構人並みに走つてくれた。

もはや走り廻るといふわけにはいかないが、いぶし銀のような運転で有終の美を飾りたいと思つている。ちなみに車体の色もシルバーである。

斤五千人、ワイカトという広域の中心ですが庁舎の職員は少なく、高いアンテナを使った通信・コンピュータによる管理で運営されています。またこの地域は



松の植林と木材・チップの工場、NZ最大のチーズ工場が産業の中心になつていて、それらの工場も全部コンピュータ化されています。鉄道は客を乗せるのではなく、輸出する木材やチーズを港まで運ぶために運行されていて、日本は大阪のおとくいさんです。日本からは機械・電気器具・自動車などを輸入して、走っている車のほとんどは日本車(それも中古が多い)です。NZの生徒達は人なつこく、廊下を歩いていても名を呼ばれたり日本語で挨拶されたりして幸せな気分になることも多いのですが、クラスによつては授業が成立しにくいほど騒ぐ子もいます。中国人の主任の意見によれば、この国では誰でも行きたければ大学に行けるし、高学歴が有利というわけでもないのです。勉強の

俳句

7月27日(火) 28日(水) 「小豆島吟行旅行」

合田青幹 合田青幹 放哉の眺めし海を見て端居 斯く古りし分教場や法師鳴く

田所たねを 吉本伸秋 禁酒して一人住みしと夕焼雲 野分して十八人の島遍路

寂しさをきはめし人よ野分立つ 落書の涼し机の小さければ 中内みち代

出格子の路地の涼しき島に來し 放哉の遺筆しみじみ夏は逝く 小笠原さちを

野分余波埠頭に揺る、タグボート 向日葵の皆海を向く映画村

必要性を生徒が感じないのだとのこと。競争社会が生む弊害を痛感している日本人としては複雑な気持ちでした。

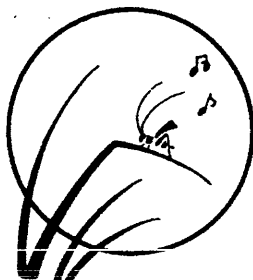
8月の終に埼玉の高校訪問団が来て、こちらの学校側の責任者のアシスタントをやりました。一人ずつ別れてのホームステイ、盛り沢山の訪問・見学、日本紹介、こちらの生徒による英会話実習、さよならパーティ等の10日間のあと、生徒達は「もつと英語を勉強してもつと話せるようになりたい」「別れがこんなに辛いものだとはじめて知った」などと話しましたが、私自身、この別れの辛さをホストファミリーや日本語を教えた生徒達との間に感じ、人間同志の絆を感じました。言葉も生活習慣も違う国から来た私に、3ヶ月の間一度も嫌な思いをさせなかつた私のホスト夫妻をはじめ、NZの人達の優しさ・暖かさが生徒達にこのような感想を持たせたのだと思えます。平和への願いは、こういうところからもつくられていくのでしよう。(追伸、NZの冬から一週間で暑かしくなりました。また、楽しみの夢をふくらませています。)

日本高齢者大会に 出席して

第十三回日本高齢者大会が九月一、二日広島市で開かれた。全国から三千四百名、高知県から四十一名、高退協五名(うち三名は医療生協、退婦教の資格で)参加した。

今回の中心テーマは「国際高齢者年と介護保険への取り組み、特に介護保険への取組、実施時期が迫ってくるにつれて疑問、矛盾、高齢者の不安などが提起され、行政の立ち遅れが指摘された。実施段階での問題点も含めて真に我々のためになる方向に、各地域ごとに運動を盛り上げ、行政に要求し、強力に働きかけることの重要性が強調された。

全体会では「生き甲斐のゆくえ」と題する木津川計氏の記念講演があり、戦後の社会の変遷、現在の社会、政治批判、身近な家庭問題、伝統文化などを巧みに織り混ぜてのユーモアに富んだ人生論は全国の参加者を魅了した。せかせかちまちま、社会に振り回されてストレスをためることのないよう「自然を愛する趣味人たれ」ということから



第5回日本母親大会(山松)に参加しました

四国で初めての日本大会「四国は一つ」を合言葉に、高知から千名の参加目標をたて取り組み、一一二四名の大会に乗せました。全国からは延べ一万九千名の参加があり、全体会では女性のパワー全開をまのあたりにし大いに励まされました。

高退協会員も多数参加しました。どの会場でも高知の男性の活躍が目立っていて、愛媛の方から感謝されたことを報告したいと思えます。

要求クジラカード(五千五百枚)は、大きな親子クジラにデザインされ舞台を飾りました。

(林)

しい。ちなみに「趣味人」と言う言葉は文部省の辞書には載っていないとのこと。

分科会は「似島戦跡めぐり」に参加、広島が明治以後の富国強兵、大陸侵攻政策の中で兵站、検疫、弾薬貯蔵の前線基地であったこと、原爆投下後この島におびたらしい数の原爆被災者が送り込まれたが治療にあたる医師や医薬品は乏しく、身体の一部を切断すること、唯一の治療で、後では麻酔すらなかつたと言ふ事実。戦後新制中学を作るとき、校庭からたたくさんの人骨が収容され、現在その一角に慰霊碑が立っており、改めて戦争の生々しい惨禍を身近に感じることができた。

参加者はそれぞれの地域での活動家が多く、みな熱心であること、また年々若い参加者が多くなつてきていると聞き、たいへん心強く感じた。(T・K)

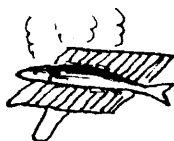
会員の消息

☆西内満夫さん 去る8月29日、福岡の剣道昇段審査で「剣道七段」に合格しました。目下「土佐生涯剣友会」理事として活躍中です。

また10月9日から行われる第12回全国健康福祉祭ふくい大会(ねんりんピック、99福井)には高知県チームの監督、大將として出場します。(門田豊さんからの便り)

渡米手術費用支援の カンパのお願い

高教組江の口養護分会の三好先生が心臓病のため渡米して移植手術を受ける以外の治療法がない事態になりました。そのため、渡米して手術を受けるための費用約五千万円が必要となりました。街頭署名カンパも行っていますが、高額なため広く有志のカンパを訴えています。会員の皆さんで協力願える方は協力してあげてほしいと思います。どうぞよろしくお願いします。



旅

のしおり

尾瀬へ行ってきました
浜田昌俊

七月二十二日から四泊五日で、「山の会」の仲間たちと行ってきました。坪井幹之、加藤喜代治・敏恵、近森昭三郎・忠子、山本圭一・智津子、林勤浜田隆史、桑原豊子、川添史子、津野真千子、久万田登志子、山崎晶子、明神真喜子(男7 女9計16名)

さすがに「ええところ」。久々に命の洗たくができました。東京駅から上越新幹線で上毛高原駅へ。ここでもう「来てよかつた」と思いつめました。鳩待山荘を早朝に出て至仏山(二二二八米)に登り、尾瀬ヶ原。水芭蕉は六月中旬までで、その代わり黄色いユリの花に似たニッコウキスゲが、一面に咲き乱れていました。長蔵第二小屋に泊り、よいよ東北第一の山、燧ヶ岳(二三五六米)へ。火山だからでしょうか、谷が深く、大石がゴロゴロしている。

囲碁クラブ結成

二〇〇〇年一月二十三日結成(第一回大会)を目標に準備をすすめます。囲碁愛好家は事務局までご連絡下さい。

またこれから始めたいという方があれば囲碁講座を開設しますので事務局までご連絡下さい。

やってみませんか

アクア・エクササイズ
(水中歩行)

- ① 腰やヒザに無理のない運動だから
 - ② 足・腰が強くなり脂肪などを減らし
 - ③ て血圧が安定
- 代謝は活発になりボケ防止
- 所 県民体育館プール
1回、一二〇円
長寿手帳所持者は無料
- 時 月曜日を除く毎日
9時より約1時間
または随時
- 連絡先 (088)
83211097
竹島寛之まで

て悪戦苦闘もいところでした。

やつとバスに間に合つて、檜枝岐(ひのえまた)(福島県)の旅館にたどりつき、珍味な山菜料理と、オミキをたんまりいただきました。この村は、秘境で徳島の祖谷のようなところ、昔は極貧の里で、赤ん坊を間引きしなければならなかつた。その子の霊を慰めて六体の地藏さんが路傍に建てられています。

泊まった長蔵小屋で買った「尾瀬山小屋三代の記(岩波新書)」を、ずっと読んできました。初代の長蔵さんは、命がけで、水力電力会社が尾瀬をダム化しようとするのに対決。この大自然を守り通してきた有名な人物。このじいさんは頑固一徹、そのため若い時この村から追放されています。

ところが、今や尾瀬の大自然を慕って全国から何十万と訪れ、バスがひっきりなしに客をこの村に運び、豊かな温泉村にすっかり変わっています。

そんなことも実際行ってみて分かつた旅でした。

「うたいきょう20号」の 原稿募集

高退協の機関誌が20号を迎えました。最近の政治情勢は戦前を思わせるほどの反動ぶりです。「教え子を再び戦場に送るな」のスピーチの下で闘い続けた私たちに色々々な思いがあり、怒りがあるかと思えます。二千字から二千四百字迄の字数で、日常の生活振りや種々な思いを書いて欲しいものです。同時に、俳句、短歌、詩などの文芸作品もご寄稿下されば幸いです。また、同封のハガキに「近況報告」を書いて返送下さい。会員でつくる会員の機関誌です。積極的なご投稿を期待しています。

計報

包国祥一先生が七月二十四日、鎌倉大船の自宅で七十八歳の生涯を閉じられました。

富永三雄先生が八月二十五日、高知市の横浜病院で八十五歳で逝去されました。心から冥福をお祈り申し上げます。

高教組だより

井垣政利

「日の丸」「君が代」法が成立、学校現場をターゲットにした国民的思想統制が始まる。高退協の皆さんには緊急でありながら一週間余りの間に一四七筆の署名をお送り頂きありがとうございました。また、元管理職・事務長のみなさんには立法化反対のアピールへの連名をお願いしました。ところ九名の方から賛同頂きありがとうございました。今後「日の丸」「君が代」の歴史を事実にとつて正しく教えること、強制・押しつけ・処分を許さない取り組みを進めていきたいと思

高教組では、県教組とともに、勤勉手当への成績率導入の凍結・見直しを求め、意見書採択の要請に県下すべての市町村をキャラバンし、議長・教育長などと懇談してあります。その中で多くの自治体が組合の申し入れに理解を示し検討を約束してくれています。今年三月に発表になった「新学習指導要領は「日の丸」「君が代」の指導徹底をうたい、法律でそれを強制し、従わない教職員には成績率で賃金に格差をつけるという状況が危惧されています。今秋にも登場するといわれています。有事立法、新ガイドラインの発動をすすめる国民づくりが学校現場の動きとリンクしてあります。こうした中、教職員組合の果たす役割は重大です。高退協のみなさんにもご協力頂きともに歩みたいと思

全退教四國ブロック交流集会への

お誘い

各県もちまわりで開かれている全退教四ブロック交流集会は、今年は徳島で開かれます。徳島市と吉野川を見下ろし、すばらしい夜景の見られる眉山山頂「かんぼの宿」(改装新築)での四ブロック退教協の交流集会に、多数の会員の皆様をご参加下さるようお願い申し上げます。参加希望者は岡崎会長に申し込みください。

記

☆日時 1999年10月26日27日(火・水)

☆場所 徳島市八万町中津山3-70
「かんぼの宿」(簡易保険センター)
☎(088-625-1255)

☆日程
第1日 10月26日(火)
14.00~15.00 受付(入浴、散策など自由)
15.00~17.00 全体会(「いきがい」「健康」について各県報告)
18.00~20.00 懇親・交流
第2日 10月27日(水)
8.30~9.00 朝の集い(吉野川第十堰について)
9.00~ 吉野川第十堰の現地見学 解散集会

☆費用 参加費 11,000円(宿泊、食料など)
申込先 高知市横浜西町7-3 岡崎 清恵

高退協活動日誌

【7月】

8日 泉啓一先生の葬儀に出席
13日 高退協事務局会
15日 富永三雄先生を横浜病院に見舞う
17日 日本共産党創立七十七周年記念祝賀会に出席
20日 シンポジウム「県民参加の学校改革と教職員評価」に高退協から8名出席
21日 正午、市役所前の緊急抗議集会に高退協から5名参加
25日 グリーン会館での「君が代・日の丸」問題を考えるシンポジウムに高退協から8名参加。田所金久先生がシンポジストを務める
31日 松山市での日本母親大会に多数の女性会員が参加

【8月】

2日 教職員への成績率導入問題での打ち合せ会
14日 山原房子先生七回忌の会に出席
14日 画祭 第15回平和映画祭
17日 高退協事務局会
27日 高退協夏季学習講座 41名出席
30日 富永三雄先生葬儀 戦争法の発動を許さない高知県民連絡会の拡大代表者会に出席

【9月】

1・2日 全国高齢者集會に古味、中川、島本、野島(幸)島山の各先生参加
4日 「高知市民病院を現地に存続を求めらる会」の市民集會に高退協から5名出席

相撲ニ知識 三十四

林 勤

大相撲を支える人々(8)

行司 (1)

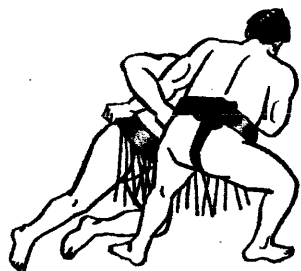
○人数、採用、相撲字など

☆はじめに
一九九五年七月と九月のNo.75、76で行司さんのことを既に述べましたが、一九九八年三月No.91から「大相撲を支える人々」の連載を始めましたので、少し加筆をして、改めて述べることにしました。
行司も力士とほぼ同じ呼び方の階級がある。階級名と平成十一年九月場所の階級別人数は、序の口格三名、序二段格六名、三段目格五名、幕下格九名、十両格八名、幕内格九名、三役格四名、立行司二名である。立行司とは、行司の主席、筆頭という意味であり、力士なら東の横綱に匹敵する木村庄之助(高知県出身)とその次に位置する西の横綱とも言えるべき守伊之助である。庄之助、伊之助ともに二十九代目である。



入門については、入門規則に「義務教育を終了した満十九歳までの男子で、適格と認められる者から採用する」とある。内臓検査などの健康診断と面談を行うがテストはない。

採用されると、本人が希望する部屋へ入る。因みに、木村庄之助は二所ノ関部屋、式守伊之助は春日野部屋である。
力士は幕下以下には給料は出ないが、行司は全員に支給される。しかし、額は公表されていない。が、私が入手していた新聞切り抜きのなか「初任給は本俸と手当て合わせて十四万円。ちなみに、十五歳で入門した二十歳の行司は月給十九万円前後になる。勤続四十九年以上で六十歳以上が有資格者となる立行司は月給40万円、このほか各人の能力や成績などにより、手当が支給される。なお、幕下以下の行司装束は木綿製で十万円前後、十両以上になると絹で作られる。十両は30万円から、幕内で50万円、立行司だと70万円、60万円、高いものだと150万円、高いものだと150万円以上するものもある。」「などであるので、平成九年1月場所当時のもので紹介しておきます。
力士は入門すると相撲教習所で半年間、実技や相撲史、生理学、運動医学、一般社会などを学ぶが、行司には教習所はない。先輩の行司から全般的なことや相撲字の指導を受ける。歌舞伎や落語界などに特有の書体の字があるように、相撲字も



下手投げ
四つに組んで、差し手の下
手から投げる場合をいう。



のような、楷書、肉太の独特の書体である。
肉太は力強さと同時に、隙間がない、即ちお客様が一杯になるようにという縁起をかついでいる。(つづく)